福徳岡ノ場の火山活動解説資料（平成 24 年４月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。
今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。
平成 19 年 12 月１日に噴火警報（周辺海域警戒）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図２※）

19 日に第三管区海上保安本部が実施した上空からの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる湧出点付近から湧き出る直径約 30mのほぼ円形状で、乳白色及び青色の変色水が確認されました。なお、同海域に浮遊物は確認されませんでした。
福徳岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が観測されており、2010 年２月３日には小規模な海底噴火が発生しています。

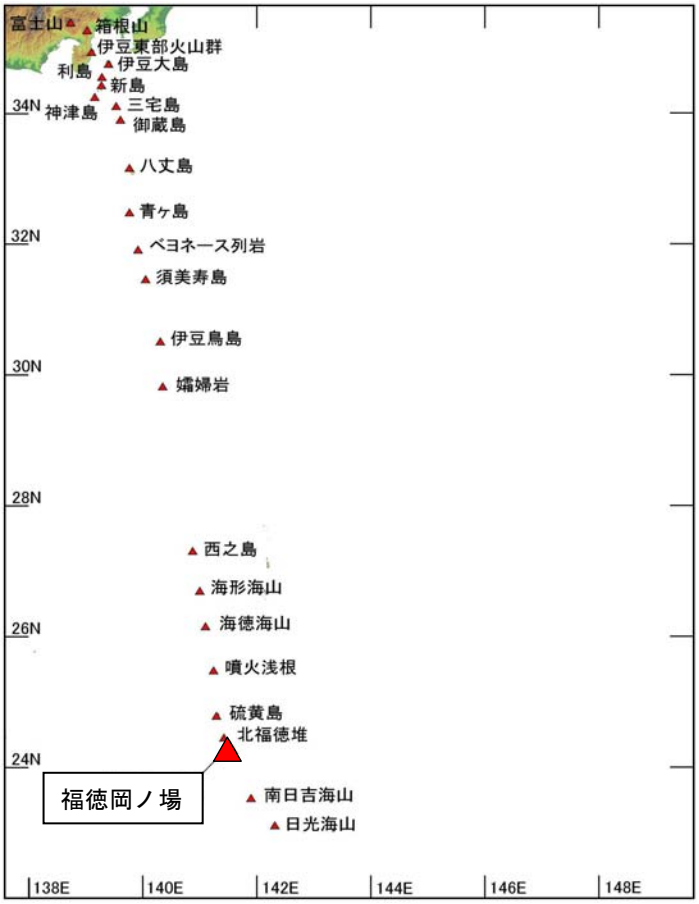

図１　福徳岡ノ場　伊豆・小笠原諸島の活火山分布と福徳岡ノ場

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。
※この記号の資料は、海上保安庁、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

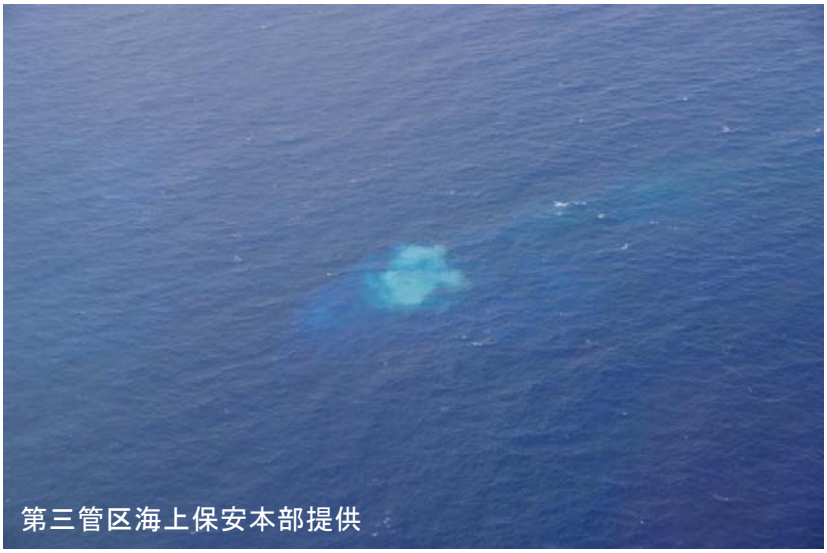

図２※　福徳岡ノ場　19 日 14 時 50 分～15 時 00 分頃撮影
　湧出点付近から湧き出る直径約 30ｍのほぼ円形状で乳白色及び青色の変色水が確認されました。